

算 数

小学校第5学年

OS・ソフト等

- ・ Apple iPad
- ・ 学習者用デジタル教科書
- ・ ミライシード(オクリンク)
- ・ GIFU ウェブラーニング

<単元・題材名等>

「単位量あたりの大きさ」

ねらい

混み具合の比べ方を考える活動を通して、単位量あたりの大きさを求めると比べやすいことに気づき、混み具合の比べ方を説明することができる。

主なICTの活用法

- ・ 学習者用デジタル教科書を用いて、自分の考えを図にまとめる。作成した図をオクリンクで共有し、図を指し示しながら説明し合う。
- ・ GIFU Web ラーニングの「きょうのもんだい」で学習内容が理解できたか確認する。

ICTを通じて育成する資質・能力

- ・ 単位量あたりの考え方をを用いて、混み具合の比べ方を考え、図と式を関連させて説明する力。
- ・ 単位量あたりの考え方をを用いて、問題を解決する力

実践の概要

【導入】

- ・ オクリンクのカードに、前時までの違いや解き方の予想を記入する。そこで、単位量あたりにそろえたり、もとにする量の公倍数を見つけたりする等の見直しをもつ。
- ・ 見直しごとに記入するシートの背景を色分け（単位量あたりにそろえる：青、もとにする量の公倍数を見つける：赤等）することを共通理解しておく。

【個人追究・交流】

- ・ 個人追究の場では、学習者用デジタル教科書を用いて操作をしたり、自分の考えを図に表したりする。
- ・ 作成した図はスクリーンショットを撮り、オクリンクの提出BOXに出す。提出BOXは公開しておき、仲間の考えをヒントにできるようにする。
- ・ 自由交流の場では、大型画面に示された背景色をもとに、同じ考えの仲間や違う考え仲間と意図的に交流する。

【終末】

- ・ 終末には、確認問題としてGIFUウェブラーニングの「きょうのもんだい」に取り組む。リアルタイム把握機能を使い、全員の学習状況を見届ける。解答が止まっている児童を中心に机間指導で指導・援助する。



児童の学びの様子

○考え方ごとに、背景色を決め、大型画面に示すことで、児童自身が目的をもって、同じ考えや違う考えの児童と交流することができた。

○リアルタイム把握機能を使うことで、適切な指導・援助を行うことができた。



指導のポイント

- 自由交流の場において児童が目的的に交流できるよう、考え方ごとに背景色を決めておくことが大切である。
- GIFU ウェブラーニングに取り組む場では適切な指導・援助ができるよう、リアルタイム機能を利用することが大切である。